

平成21年度 第1回 別府市立図書館協議会 会議録（要約）

【日 時】平成21年7月1日（水）午後1時～午後2時20分

【場 所】別府市教育委員会室

【参加者】石井保廣委員、河野重義委員、権藤和雄委員、
佐藤慶子委員、立川敬子委員、土岐 修委員、
宮崎みき子委員、山西敏晴委員
郷司教育長、檜垣生涯学習課長、安部課長補佐、柏木係長、津川主任、
立川図書館長、谷中主査補

1. 任命状の交付（郷司教育長）

交付の前に本協議会委員が6月23日の定例教育委員会で決定された旨が報告されました。

2. あいさつ（郷司教育長）

本年度より別府市立図書館協議会を立ち上げ、委員の皆様方には貴重な、いろいろな体験をもとにしたご意見をいただきたいと考えています。

昨年、図書館法の改正があり、公立図書館における方向性が明確に位置づけられたところであり、また、別府市においても、旧南小学校跡地に新しい公立図書館構想が出ています。

委員の皆様には、別府市の公立図書館のあり方、いわゆる市民にサービスする図書館がいかにあるべきか、また、次代を担う子どもたちに向けての図書館がどうあるべきか、ということを含めて、別府市民のための図書館づくりに向けて、大所・高所より貴重なご意見を賜りますことを切にお願い申し上げます。

3. 案 件

○ 会長、副会長の互選

出席委員の互選により、土岐委員が会長に、佐藤委員が副会長に就任することが全会一致で承認されました。

○ 土岐会長あいさつ

図書館は「生涯学習の場」として、また「情報収集の場」として広く活用されることが良いと、私は考えています。

これから委員の皆様方のご意見をいただきながら、「素晴らしい図書館づくりができれば」と思います。

- 協議会の公開について
事務局より、本協議会が公開であることや会議の要点会議録についても公表されることの説明があり、委員の了承を得ました。
- 平成20年度運営状況について（事務局より説明）
館内奉仕、移動図書館車、おはなしの会、利用者アンケート、図書館職員研修、中学生職場体験学習の受入などが報告され、統計資料については「開館日数」「来館者数」「貸出冊数」などについて説明がありました。

(石井委員) 「図書館要覧」11ページに平成20年度のサービス指数が掲載されていますが、全国平均とか別府市の位置などは把握していますか。

(事務局) 把握していません。ただし、関係数値である「奉仕人口」「蔵書冊数」「貸出冊数」「貸出者数」「開館日数」「登録者数」については、把握していますので算出できます。資料は次回までに用意します。

(石井委員) 研修について、別府大学では今年から司書を対象とした3日間の講習会を開催することになりましたので、利用いただければと思います。
また、例年「子どもの読書活動推進研修会」を開催しており、参加無料ですので、ぜひ参加していただきたいと思います。

(事務局) 大学のほうから司書の研修の案内はいただいています。
現在、別府市立図書館職員の研修は「大分県公立図書館職員研修」が開催する初任者研修、中堅司書研修などに参加しています。
また、特定の「資料の修理・補修」という項目を決めた研修にも参加しています。
そのため、外部研修への参加は行っていません。

(石井委員) 「資料の補修」ということが出ましたが、何か一つのテーマを決めて研修するというのは、とても良いことだと思います。

(権藤委員) この図書館協議会の役割がわからないので、この会議でどういったことを言えばよいのかもわからない。

(檜垣課長) 今回、図書館協議会を新たに設置しました。
この目的の一つは昨年の社会教育三法の一部改正により、「図書館運

営について評価を行う。」ことになったことがあります。

もう一つは、別府市学校跡地複合施設整備事業基本計画において、「旧南小学校跡地の利活用の中で図書館をメインとした複合施設を建設し、交流人口の増加を促し、図書館が生涯学習としての知の拠点となり、市民に愛されるようなものにする。」ということがあります。

また、別府市立図書館協議会は図書館法にのっとり設置したものであり、委員についても法定の「学校教育の関係者」「社会教育の関係者」「家庭教育の向上に資する者」及び「学識経験者」という、それぞれ専門分野からの意見をいただくことにしています。

それから、次代を担う子どもたちにどういった図書館が相応しいのか、また、社会教育や生涯学習の一環として、高齢者の方・地域の方々など幅広く利用していただけるような「図書館のあり方」はどうあれば良いのか、さらにサービス面から「どのような図書館を目指すのか」などについて、委員の皆様方の専門的な、また大所・高所にたったご意見をいただこうというものです。

(佐藤委員) 協議会規約を次回に示していただけるということですか。

一般的に図書館協議会規約には「事業の調査研究」とか、「関係資料の収集」とか、「関係機関に対する要望」とかがあるわけですが、別府市立図書館協議会でも全部含まれると考えてよいのですか。

それとも、図書館運営に対して要望するとか、新しくできる図書館への要望とかに絞られるのですか。

(檜垣課長) 図書館のあり方、図書館づくりといった面からご意見をいただきたいことと、新しい図書館については、主に運営についてのご意見をいただきたいということです。

新しい図書館については、施設の規模は4,700㎡で県立図書館を除くと県下の図書館では最大規模となります。

また、蔵書能力30万冊で、一般開架は13万冊を予定しています。

閉架書庫は、自動化書庫としてスペースの有効利用をしていくことを考えています。

ハード部分については、基本計画段階で最終的な実施方針が決定している訳ではありませんが、新しい施設にあって、使いやすい図書館などについてご意見をいただければと思っています。

建設について、ご意見をいただく協議会ではないと考えています。

(権藤委員) 協議会規約を次回、お示しいただければと思います。

(議長) 次回は、いつ頃の開催を予定していますか。

(檜垣課長) 次回の開催は、明確ではありませんが、会長・副会長と相談のうえ、早い時期に開催したいと考えています。

また、事前に配布できる資料等については、早めに委員の皆様方にお送りしたいと思います。

(議長) 使いやすい図書館づくりとか、子どもも市民も活用できるとか、学校との連携をどう構築するかとか、特にソフト面の議論が中心であって、建物をどうしようとかいうものではない、との事務局の答えでした。

(立川委員) さきほど石井委員から報告された「子どもの読書推進研修会」について、私たち委員にも案内があるのでしょうか。

(石井委員) 届いてなければ、次回から案内をしたいと思います。

○ 図書館新設に係る経過と進行状況について（事務局より説明）

現在、旧南小学校及び旧南幼稚園跡地に図書館を含む複合施設を PFI 方式で建設する方向で計画が進められており、本年3月に「別府市学校跡地（旧南小学校及び南幼稚園）複合施設整備事業に係る基本計画策定業務及び PFI 導入可能性調査業務」が終了し、この報告書を別府市公式ホームページで公開するとともに、市民の意見を募集し、その意見を7月上旬のホームページで公表する予定であることなどの説明がありました。

また、今後のスケジュールについても、おおまかに説明がされました。

(議長) ただいまの事務局の説明の中にあつた PFI 事業について、少し詳しく説明してください。

(檜垣課長) PFI 事業とは、民間資金や民間ノウハウを活用するもので、従来の公共事業の資金調達とは違う方式となります。

今後のスケジュールでは、PFI による建設ということで説明しましたが、市として、もっと有利な方法があれば検討するというスタンスです。

また、建設が PFI によるものであっても、運営については、中に入る

どの施設について市が直営で行い、どの施設について民間が引き受けるのかなどについて、今年度中に見極めることとしています。

○ 平成21年度図書館運営について（事務局より説明）

本年度の運営方針について、「選書方針」「図書館評価」「郷土資料整備」「学校との連携」について、説明がありました。

（佐藤委員） 選書・廃棄・寄贈について、具体的な選書方針はありますか。

（事務局） 選書・廃棄・寄贈については、現在、内規により処理をしています。

（石井委員） 蔵書構築について、図書館としての選書方針のポリシーを持って、選書・廃棄・寄贈図書を受付をするべきであると、私は考えています。

また、選書方針等を持っておれば、公開していくのが良いと思いますが、市のほうはどのように考えていますか。

（事務局） 現在、内規により処理していますが、石井委員のご提案のように、私どもも早い時期にその方針を公開したいと思います。

（権藤委員） 開館時間について、午後7時までとなっているが、午後10時まで、せめて午後9時まで延長できないか。

（事務局） 過去にも同様のご意見があり、これまでに午後9時までの開館を2度試行しました。

ところが問題点ばかりが、クローズアップされる結果となっています。

当時の状況を説明しますと、一般の利用者は、ほぼ午後7時までに退館します。

その後、特に高校生のたまり場となってしまい、館内の通路にタバコの吸い殻や弁当の食べカスがちらかっただけでなく、近隣の家敷地内にタバコの吸い殻、空き缶、弁当カスが投げ込まれることが頻発し、他の高校の生徒との喧嘩なども起こり、高校の生徒指導の先生まで出勤するような事態を招きました。

従って、当面、現行の開館時間で運営していくことで考えています。

(議長) 郷土資料の整備については、緊急課題と思いますが、これを平成23年度までに完了するということですか。

(事務局) これは財政当局や政策推進課との協議が整うことが前提ですので、最終確定した話ではありません。これをクリアし、予算化される見込みで提案しています。

また、電算化以前に閲覧できていた資料のうちデータベース化されていないものについての市民からの問い合わせについては、在籍年数の長い司書の経験によって、対応しているような状況になっています。

(檜垣課長) 新しい図書館が平成25年度にオープンしますので、それまでに間に合わせるということで考えています。

(石井委員) 郷土資料というのは、いわゆる灰色文献といわれるもので、別府市にしかない資料というのが結構あると思います。

これは別府市立図書館にとって一番大切な資料だと思います。

しかし、データ入力オリジナル入力ということになり、一般文献と違って入力の経費が高くなりますし、相当な時間もかかると思います。

それで、できれば書誌のタイトルだけでも入力して、その都度公開していけば、市民にとっても非常に利用しやすいのではないかと考えます。

(山西委員) 学校との連携ということではありませんが、学校図書館は「余裕教室」の仕切りをとって、広い空間の中で生徒に過ごさせたいという(私の)思いもあります。

(河野委員) 石垣小学校の場合は、県立図書館から朝読書用の図書を借りていますが、今後は市立図書館も活用していきたいと思います。

小学校の蔵書の充足率が高いということになってはいますが、子どもが読まない古い本が含まれており、それを廃棄していない現状もあります。

市立図書館の活用を図っていきたいので、児童書の充実をお願いしたいと思います。

また、水曜日の朝は保護者の方が学校に来て、読み聞かせをしてくれていますが、読み聞かせの方の研修などもやっていただければ、と思います。

(宮崎委員) 各学校に対する図書購入の予算はどうなっていますか。

(檜垣課長) 学校図書の件は、生涯学習課の分担ではないので、明確なお答えはできませんが、図書整備については市のほうで予算化しています。

PTA 連合会からも学校図書の充実について、毎年ご要望をいただいています。期待に応えられていない状況です。

現在、学校司書の配置が進められており、各小中学校とも、かなり図書室の整備が進められていると感じています。

学校図書の充実については教育委員会として十分認識していますが、予算措置が追い付いていないという現状です。

(石井委員) 学校との連携ということであれば、大学との連携も必要ではないか。

別府市立図書館と別府大学附属図書館との連携は必ずしも十分ではないと感じています。

お互いに住み分けをしながら、例えば分担収集を図るとか、お互いに連携を強めていくということも考えられます。

また、移動図書館車を巡回していただくと、ありがたいと思います。

(佐藤委員) 学校図書館との連携について、小学校が夏休みに入ったりすると、涼しいこともあってか、宿題をするために子どもたちが市立図書館に集中します。

市立図書館は勉強する場所ではないと思います。

そこで、学校図書館を充実させて、勉強はそこでするようになれば、子どもたちの市立図書館の利用の仕方が変わってくるのではないかと思います。

(権藤委員) 関連の質問ですが、学校は月曜日から金曜日までは開いていますが、学校図書館を土曜日・日曜日に開放していただき、そこで図書を見て勉強することはできないか。これは、意見です。

(議長) 土・日曜日に校長・教頭に出勤させて実施することは難しいし、保護者で実施した場合に学校に到着するまでに事故が起これば、損害賠償事件になった例が他県でありました。

実施するためには、十分な検討が必要だろうと思います。

(佐藤委員) 地区公民館にも本を置いていますが、市立図書館で廃棄する本を配布して、これを充実すれば学校図書館を開けなくても、地域の公民館で本も読めるし、勉強もできるのではないか。

現在、中部地区公民館で水曜日と金曜日に「放課後子ども教室」を開いており、子どもたちはそこで本をよく読んでいます。

それで、地域の公民館との連携についても考えていただければと思います。これは意見です。

(議長) 本日の会議で、この協議会が何をやっていくのかが分かったと思います。これで、本日の協議については、すべて終了しました。